

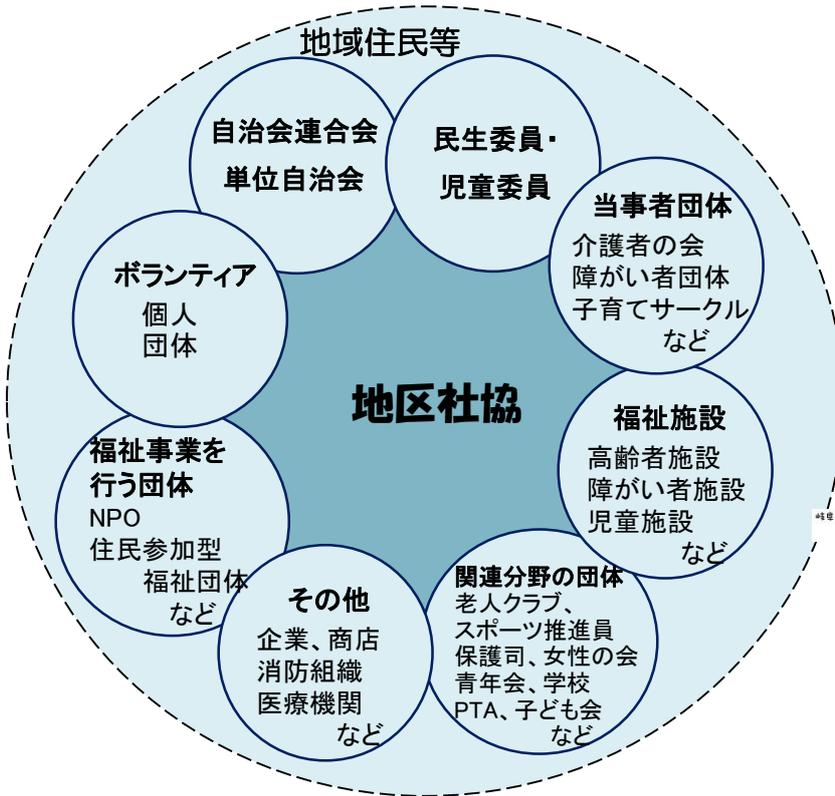
地区社協（●●地区社会福祉協議会）とは



「地域福祉」を推進することを目的に、地域住民等で組織された任意の団体です。
より住民生活に近いところで同じ住民として、地域の困りごとの解決に取り組むネットワーク組織です。

※瑞穂市では、設置範囲を小学校区と想定しています。

◆ 地区社協の構成イメージ



地域福祉とは？

地域に暮らす人の困りごとや問題を、その地域全体の福祉課題ととらえ、解決しようとしていく取り組みです。社会福祉法でその推進が位置付けられています。

（社会福祉法第4条関連）



ポイント

課題（日常生活上の困り事）の解決のために必要なメンバーを柔軟に組み入れてネットワークを組織します。

地域の実情に合わせて、実効性のある構成を考えましょう。

◆ 地区社協の機能と目的

地域のネットワークを活かして

- ①理解を広げ ②困りごとを見つけ ③話し合い ④活動を通して解決する

①②③④を行うことにより、

「1人ひとりの困りごとを

みんなで受け止め解決を目指せる地域をつくる」

◆ 地区社協の活動



◆ 地区社協の強み

▷ 住民に身近であること

- より住民に近いところで、住民の困りごとに早く気付くことができます。また、地域によって困りごとは様々です。その地域に合わせて、必要な取り組みができることも大きなメリットです。

▷ ネットワーク組織であること

- 地区社協は広く住民や団体で構成され、対等な立場で地域を良くするための協議をします。一個人や一団体では解決が難しいことも、それぞれの知恵や情報収集力、発信解決力などを持ち寄って解決する力を高めることができます。

▷ 任意団体であること

- 地区社協は任意団体であることから、決まった条件で対象を線引きする必要はありません。「あの人が心配」「助け合い」などの気持ちをベースに、既存の枠組みにとらわれることなく地域の実情に応じた活動をすることができます。